

平成30年度

事業報告書

社会福祉法人ほのぼの苑

## 平成 30 年度事業概要

平成 30 年 4 月には介護報酬が改定され、特別養護老人ホームの経営状況が非常に厳しい等の窮状を受け、改定率プラス 0.54% となりました。その審議の中で改定の基本的な考え方として、地域包括ケアシステムの推進、自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現、多様な人材の確保と生産性の向上、介護サービスの適正化・重点化を通じた制度の安定性・持続可能性の確保が求められています。

平成 30 年度、当苑においても、入所者様の重度化がみられる中で、必要な介護人材の確保を図るとともに、研修会への受講促進や内部研修の実施等により職員の育成を行い、介護力の向上を図り、質の高い介護サービスに努めました。

また、地域における公益的な取組として、集落が実施するふれあいサロンに参画し、「ほのぼの苑出前講座」として、実践に基づいた高齢者の体調管理のポイントや認知症対策等を紹介するなどの活動に取り組みました。

当苑は平成 12 年 10 月に開業以来 18 年半が経ち、建物や設備機器等に老朽化の進行や耐用年数が到来しましたので、空調衛生設備や消防設備等の修繕、介護ベッド・介護用機器・食器乾燥器・エアコン等の入替購入等を行うなど、介護環境の整備や改善を図りました。

平成 30 年度の事業活動収支は、サービス活動収益が、介護報酬のプラス改定や当苑の全ての事業部門において稼働率等がアップしたこと等により、前年度比 1,359 万円の増となり、また、経費の効率的な運用に努めた結果、サービス活動費用が前年度比 508 万円の減になるなど、当期活動増減差額は、398 万円の黒字となり、当初予定していた基金取崩も行わずに済みました。

令和元年度も、質の高い介護サービスと経費の効率的な運用に努め安定した事業経営を行い、基本理念「みんなで笑顔のために」のもと、施設のご利用者様、ご家族や地域の皆様に愛され信頼される施設を目指し、職員一丸となって一生懸命頑張っています。

【事務グループ事業報告】

平成 30 年度、事務グループでは、主に介護環境の改善に取り組んでいます。詳細は下記の通りです。3 月末までの利用者状況については別紙の通りです。

項 目	内 容	備 考
制度改正対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 30 年介護報酬改定、介護保険負担 3 割について、ご利用者家族への事前案内と契約更改を実施した。</li> <li>・介護休業取得者・育児短時間勤務者に対する案内・手続等、家庭との両立支援を図った（3 月末現在の産休育休者は 2 名、時短勤務者は 3 名）。</li> </ul>	
施設設備の補修整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経年劣化による備品等更新            ベッド（12 台）・超低床ベッド（3 台）・車いす（7 台）・食器乾燥機・床置き式手すり・浴室ステンレス製手すり・パソコン（1 台）・エアコン（宿直室、調理休憩室）・ポータブル吸引機（3 台）・内線用 PHS・防水シート（30 枚）・ワイヤレススピーカー・スピーカースタンド・ワイヤレスセンサー（3 台）・歩行器・利用者食事用エプロン（30 枚）・シュレッダー・加湿器（3 台）・ベッド介助バー・スタッドレスタイヤ等入替。</li> <li>・各種修繕実施            サーバー機 HDD・トイレ・洗面所・水道蛇口・給湯配管・消防設備（換気設備、誘導灯、火災報知設備、防火ダンパー）・給湯ポンプ・居室空調・ガス回転釜・車イス・離床センサー・PHS・自動ドア・アコーディオンドア等修繕。</li> </ul>	
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火災報知機いたずら防止装置の 6 カ所設置</li> <li>・インフルエンザ対策・福利厚生として、職員の予防接種推奨と費用補助</li> <li>・介護職 3 名、介護助手 1 名、調理師 1 名、事務員 1 名を中途採用し体制の強化を図ることができた。</li> </ul>	

# 利用者状況等報告

## 1.平成30年度 サービス別稼働率

	施設		短期入所		通所介護	
	利用延人数(人)	稼働率	利用延人数(人)	稼働率	利用延人数(人)	稼働率
4月	3,155	95.61%	296	98.67%	258	81.90%
5月	3,265	95.75%	285	91.94%	287	83.19%
6月	3,155	95.61%	295	98.33%	279	88.57%
7月	3,328	97.60%	287	92.58%	304	92.12%
8月	3,338	97.89%	263	84.84%	298	86.38%
9月	3,239	98.15%	258	86.00%	257	90.18%
10月	3,278	96.13%	279	90.00%	315	91.30%
11月	3,093	93.73%	282	94.00%	291	88.18%
12月	3,274	96.01%	296	95.48%	233	86.30%
1月	3,314	97.18%	262	84.52%	230	76.67%
2月	2,993	97.18%	263	93.93%	241	80.33%
3月	3,323	97.45%	278	89.68%	248	78.73%
合計	38,755	96.53%	3,344	91.62%	3,241	85.30%
平成29年度	38,553	96.02%	3,196	87.56%	3,028	78.85%

## 2.市町別施設入所状況

平成31年3月31日現在

	南越前町			福井市	鯖江市	越前市	敦賀市	若狭町	勝山市	合計
	南条	今庄	河野							
男	9	2	0	0	0	10	0	0	0	21
女	31	21	2	1	1	29	2	1	0	88
合計	40	23	2	1	1	39	2	1	0	109

## 3.施設サービス年齢別状況

平成31年3月31日現在

	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	合計
男	0	1	1	1	4	7	7	1	0	22
女	1	1	2	7	9	16	33	13	5	87
合計	1	2	3	8	13	23	40	14	5	109

平均年齢 88.1歳(男:85.9歳、女:88.7歳)

最高齢:103歳、最年少:63歳

## 4.施設サービス介護度別

平成31年3月31日現在

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	更新申請中	合計
男	0	1	8	8	4	0	21
女	0	3	27	28	26	4	88
合計	0	4	35	36	30	4	109

平均要介護度 3.84(昨年度3.81)

## 5.施設在苑期間別

平成31年3月31日現在

	6ヶ月未満	6ヶ月～1年	1年～2年	2年～3年	3年～5年	5年～7年	7年～10年	10年～15年	15年以上	合計
男	5	3	5	3	2	2	0	1	1	22
女	5	10	17	17	10	9	12	6	1	87
計	10	13	22	20	12	11	12	7	2	109

平均在所期間:3年10ヶ月

## 【企画相談G事業報告】

町では地域支援事業の一環として「地域ふれあいサロン」が各集落で開催されており、当苑でも4月から企画相談Gが中心となり、毎月活動に参加している。施設内においては、多職種連携の要として、各委員会の中心となり施設サービスの質の向上を図れるよう努めています。

項 目	内 容	備 考
ふれあいサロン 出前講座	地域のふれあいサロンに出向き、「日々の体調管理の4つのポイント」として、苑でも取り組んでいる内容を紹介しています。そのあとに簡単な歌遊びや体操等を取り入れ楽しんでいただいています。 14か所170名のサロン利用者に聞いていただきました。	別添の通り
人材育成委員会	今年度は介護の基本とする「接遇」について、職員全員が思いやりのある親切丁寧なケアを提供できるようにと取り組みました。各自の接遇マナーチェックの結果を参考に各リーダーが評価しました。	毎月第2水曜日
看取り介護委員会	看取り介護における体制を整え、多職種協働のもと看取り介護を行っております。最期まで本人らしく過ごせるように、寄り添い関わる中で一人一人のニーズを感じ取りケアの充実を図っております。 30年度24名がお亡くなりになられたうち、16名が看取りケアを受けられました。	毎月第3木曜日
口腔ケア・食事委員会	美味しく楽しみのある食事の提供や一人ひとりに合わせたケアを行うことを目的に口腔体操を行い、嚥下機能の低下を防ぎ、口腔ケア用具を選定し食事の提供、食事の姿勢の見直しを行っている。	3ヶ月に1回
事故防止委員会	介護事故事例検討会の実施や危険予知訓練シートを用いた危険予測のトレーニングを行う。大きな事故を未然に防ぐため、小さな気づき「危ない」と感じたらヒヤリハットを提出し、会議でその分析をしている。	毎月第2月曜日
入所順位判定委員会	入所指針に基づき、入所の必要性や緊急性を判断しています。 30年度の新規申込者は120名となっています。入所待機者は31年3月31日現在で91名となっています。	毎月中旬に1回

## 30年度 地域ふれあいサロン ほのぼの苑出前講座実施報告

月日	時間	地区名	実施場所	参加人数	サロン協力員名	ほのぼの苑担当	
						講座	体操・ゲーム
4/5(木)	10:00	鯖波	そまやま	17	永宮洋子	畑	越井
5/10(水)	14:00	瀬戸	瀬戸生活改善センター	6	安藤恵美子	越井	山本真
5/22(火)	14:00	鑄物師	ほのぼの苑	8	奥村茂	畑	越井
6/12(火)	10:00	桜町	桜町区民センター	10	平田博明	山本真	山本緑
7/18(木)	10:00	河野	河野集会場	8	木村八重子	山本緑	上阪
8/22(木)	10:00	赤菰	赤菰集会場	12	吉水堅子	上阪	岸本
9/20(火)	13:30	東大道	大道担い手センター	20	平野操	岸本	畑
10/9(火)	10:00	嶋	嶋活性化センター	12	坂川登	畑	越井
11/13(火)	13:30	上野	上野生活改善センター	30	谷崎由美子	越井	山本真
12/19(火)	10:00	阿久和	阿久和区民センター	8	嶋崎洋	山本真	山本緑
1/7(月)	9:00	東谷	東谷集落改善センター	13	沢崎通子	山本緑	上阪
2/19(火)	14:00	社谷	社谷農業集落 多目的集会施設	7	関根美智子	上阪	岸本
3/13(水)	14:00	南今庄	南今庄生活改善センター	6	赤田まさ彥	岸本	畑
3/20(水)	9:30	八飯	八飯活性化センター	13	野崎和彦	畑	越井

【 H30 年度 看護グループ事業報告】

看護グループでは5人で日勤（8時45分～17時45分）（9時～18時）遅番（10時～19時）（11時～20時）、24時間コール体制のシフトを組み夜間の急変時に対応しています 又、時間を意識し業務改善する事を習慣化する事が出来ました 時間を意識し業務の効率化を図る事で優先順位を意識する事が個々の自律にも繋がっていくので今後も進めていきます

高齢者の緊急時間外受診もご家族にも負担になっています 医務室の役割を再認識し少しでも利用者やご家族に安心した納得のいける医務室に努めたいと思っています。

項目	内容	備考
他職種との連携（介護職）	介護職吸痰等資格取得指導（苑内）	新規3名（計31名）
	医療知識の実技学習会（緊急時の対応 AED）	介護職対象（すずらんF）
	入所者温泉旅行同行（1泊2日）	芦原温泉
（相談員）	急変時の事前意向確認	書類の見直し
	医務室体制（新規入所者に説明）	ご家族様に説明
嘱託医との連携	月火水金の定時往診と病状説明	山本内科院長
	看取り往診（看取り死亡診断）	山本医師 15名
	Fax メール ラインツール利用	
協力病院との連携	看取り往診（嘱託医不在時）	野尻医師 1名
	林 HP 整形外科医定期往診	〃（2回/月）
	退院前カフアレックス（林 HP・中村 HP）	5回
	経口摂取指導で介護職派遣（林 HP・中村 HP）	2回 2回
	斉藤歯科医師往診	
活動	入所者胸部 X-P 撮影（バス検診）	78名
	インフルエンザ 予防接種（全員）	
	肺炎球菌ワクチン（対象者）	
	看取り介護（計16名）現看取り介護同意者は15名	病院での死者6名
	定期病院受診同行（林 HP・中村 HP 整形・脳神経・眼科・泌尿器・循環器・内科）その他神経科 皮膚科	
	老施協 看護研究会出席	1名（3回）
	中堅看護職員研修	1名（2回）
	災害時の他職種連携研修	1名

## 【介護G事業報告】

介護グループではそれぞれのフロアの特徴を生かしたケアを展開し、利用者の方々が日々快適により満足できるケアを提供できるようにご家族、多職種と連携をとりながら援助しました。また30年制度改正にて規制強化された身体拘束の適正化に伴い、身体拘束廃止に向けて積極的に取り組みました。

項 目	内 容	備 考
自立支援ケア (4つの基本ケアの 実践)	①水分ケア ・1日1500ml目標に飲める工夫をする ・毎日の水分量の記録 ②食事ケア ・食事形態のレベルアップ ・口腔体操の実施 (11:30~11:40) ③活動ケア ・毎日の生活動作を通じた生活リハビリの実施 ・歩行練習タイムの実施 (11:15~11:30) ④排泄ケア ・おむつに頼らず、トイレ、ポータブルでの排泄支援	① ・好みの飲み物 ・コップの工夫 ② ・歯科医、言語聴覚士との連携 ③ ・リハ専門職との連携 ④ ・排便コントロールの実施
看取りケア	・頻回に訪室し、コミュニケーションを図りながら安楽の援助に努めた ・口腔内の清潔保持に努めた ・家族の方が落ち着いて過ごせる環境設定の実施 ・家族の意向確認しながら気持ちに寄り添えるよう努めた	・衝立、ソファの設置
余暇活動の充実	・利用者の方に楽しんでいただけるよう、四季折々の行事を企画実施した ・個別の関りを持つため、少人数での外出を実施した	・温泉旅行 ・バーベキュー ・忘新年会 ・運動会 ・外食、買物等
リスクマネジメント	・利用者一人一人のリスクや特徴を記載した個別リスク把握表を作成し、スタッフ全員が共有できるように努めた ・利用者ごとの支援経過記録を毎日書くようにした。	
多職種との連携とミーティングの充実	・ミーティングを毎日実施、申し送りとともに業務改善や個別ケアの実施等、早急に検討が必要な課題についての話し合う ・定期的に看護師等の他職種職員もミーティングに参加してもらい、チームケアの推進に努めた ・新規入所時の家族参加のカンファレンスを新たに実施し、本人意向確認等、家族も含めた情報の共有を図った	・13:45~ ・週1回 ・入所時
身体拘束適正化委員会 (身体拘束廃止委員会)	・30年度制度改正に伴い、あらたに身体拘束適正化委員会を開催し、指針に基づき、身体拘束の適正化を検討した。緊急やむを得ない身体拘束状況として、4月に5件あったものが3月までに0件になった	・毎月第2水曜日



## 【給食グループ事業報告】

給食グループでは 30 年度 “楽しみにしてもらえる食事の提供” と “安心して安全な食事の提供” を目標に取り組みました

項 目	内 容	備 考
<p>楽しみにしてもらえる 食事の提供</p> <p>① 嗜好調査の実施</p> <p>② 毎月新しい献立を取り 入れる</p>	<p>① 嗜好調査の実施 4月に各フロアの食事委員を通じて行う。年3回(4、10、1月)の予定であったが4月のみの実施となった。</p> <p>② 新しい献立の取り入れ 嗜好調査の結果などから給食会議にて検討した。</p>	
<p>安心して安全な食事の提供</p> <p>① 毎月目標を決め取り組む</p> <p>② 衛生管理手順書見直し</p> <p>③ 衛生講習の実施</p> <p>④ 福井県版 HACCP 認証 更新</p>	<p>① 毎月目標を決め取り組む 毎月、衛生に関する目標、やるべきことを決め翌月の給食会議でできていたか確認した</p> <p>② 衛生管理手順書見直し 変更箇所、検討が必要なところを見直し作成し 配布・確認した</p> <p>③ 衛生講習の実施 外部の衛生講習会に参加した職員を講師とし 伝達講習を行った。また 新しい職員が入職のたび 基本的な衛生(手洗い・身だしなみなど)についてプリントを配り全員で確認した。</p> <p>④ 平成 22 年に申請し、3年ごとに更新の審査を受けていた。30年度も3月22日に実地審査を受け更新することができた。</p>	

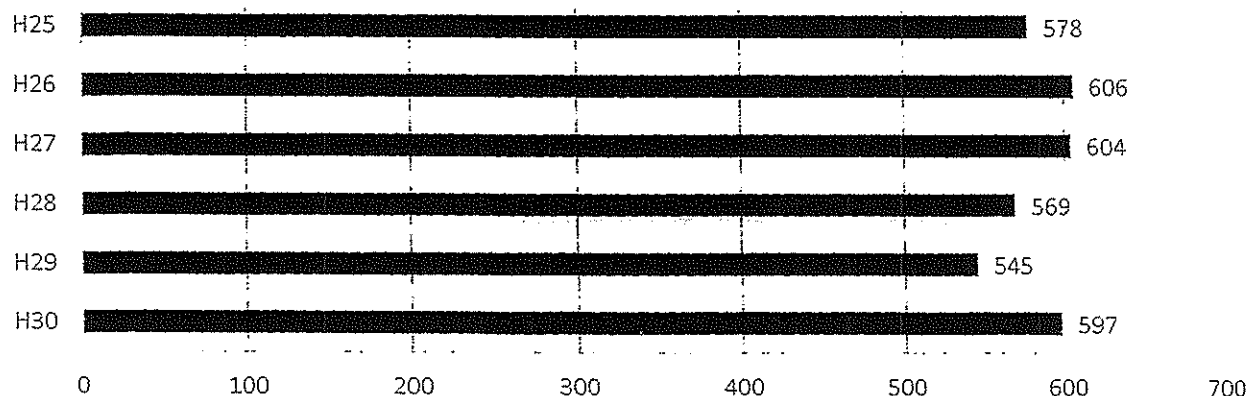
## 【居宅支援グループ事業報告】

平成30年度は「自立支援型ケアマネジメントについて理解を深める」を目標に、居宅支援契約者増加に重点をおいた。具体的な利用者状況等に関しては別紙のとおりである。

項目	内容	備考
相談援助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回のモニタリング訪問の際には、サービス提供状況や本人満足度、支援目標の達成度、計画変更の必要性を意識することで、効果的に聞き取りできるようにした。</li> <li>・状態に応じたサービス調整、福祉用具貸与、購入、住宅改修などの書類作成、申請を行った。</li> </ul>	
給付管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の配置変更に伴い新規受け入れは調整をしながら行い、のべ給付管理件数は前年度より52件増となった。</li> <li>・事業所職員2名ともに給付管理が行えるよう指導を行い実施できるようになった。</li> <li>・事業対象者、予防支援者の実績報告を委託されている地域包括支援センターに確実にを行った。</li> <li>・加算を伴う、入退院時の連携を確実にを行った。居宅受け持ち変更時の複雑な給付管理に対応した。</li> </ul>	※別紙参照
地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議に事例提出し、「独居高齢者の支援」について検討。利用者を支える上でのつながり、結びつきの大切さについて理解を深めた。</li> <li>・見守り体制づくり会議に出席し、高齢者が安心して暮らせる町づくりを目指し多職種連携の大切さを学んだ。</li> <li>・地区のふれあいサロンに企画グループと共に順番に参加。(体調管理の講義、レクリエーションを行った)</li> </ul>	
研修・会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>※南越前町ケアマネ連絡会に毎月参加し、年間を通してサービス担当者会議の進め方、課題、悩みについて知識を深めた。</li> <li>・アセスメントをより良くするためにアセスメント用紙を検討し活用した。</li> </ul>	

### 【グラフ①】

年度別給付管理件数



# 平成30年度 居宅支援事業報告別紙

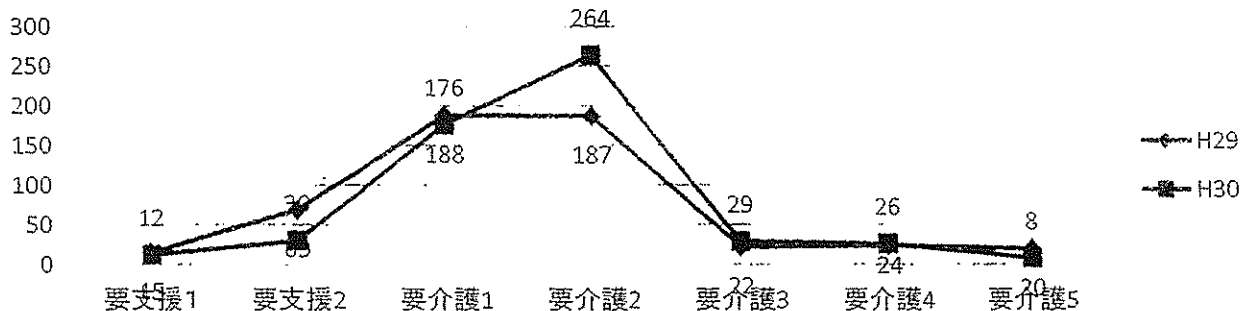
## 【月別認定調査件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年度
認定調査	1	2	2	2	3	1	4	3	2	2	1	2	25	26

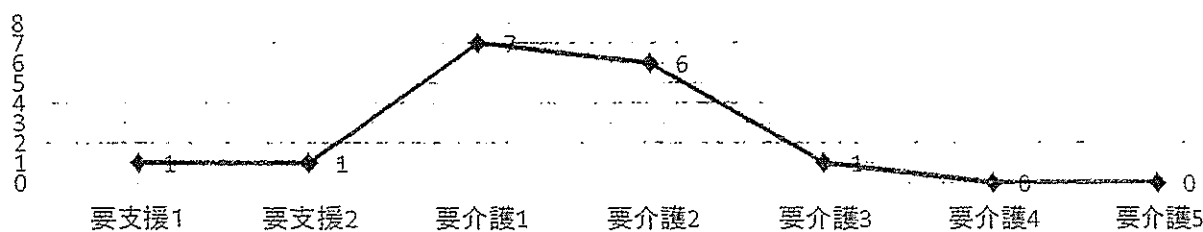
## 【月別新規契約及び給付管理件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年度
新規数	2	2	0	1	4	1	0	1	0	1	3	1	16	24
支援事業対象者	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	12	20
要支援1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	15
要支援2	8	6	7	6	6	6	6	6	6	5	4	4	70	69
要介護1	17	16	15	17	16	16	14	14	13	12	12	14	176	188
要介護2	17	17	20	18	21	23	25	25	26	25	24	23	264	187
要介護3	1	2	2	3	3	2	1	2	3	4	3	3	29	22
要介護4	2	2	2	2	2	2	1	2	3	2	3	3	26	24
要介護5	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2	8	20
合計	47	45	48	48	50	51	49	52	54	51	50	52	597	545

### 介護度別給付管理件数

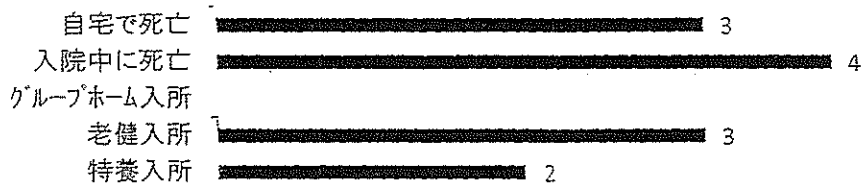


### 介護度別新規契約者件数



## 【グラフ④】

### 契約終了後の行先別件数



## 【H30年度 通所介護事業報告】

デイサービスでは誰もが住み慣れた地域、我が家での生活をいつまでも継続できるように、ご家族の意向や要望を聞きながら、介護負担軽減を図っております。また利用者個々の健康状態を把握し対応することで生活習慣病や廃用症候群なども防ぐこともできて元気に通っていただいております。楽しみが持てる行事、ドライブ、季節を感じる工作、手作りおやつに取り組んでいます。

項目	内容	備考
ケア	来苑している時間の活動量を増やし運動の継続を促しています。孤立感の解消。レスパイトケア(家族の身体的精神的負担の軽減)を図っています	
職員	ご家族からのお悩みなど相談にのって可能な限り支援させていただき、適宜、介護支援専門員と連携して支援にあたっています	
研修	外部研修の参加は少なかったが、苑内の研修に参加や担当をする事で意識を高め、知識を深める事ができています。	研修不参加職員への伝達
行事	・手作りおやつ ・誕生会 ・ドライブ・出前、外食	利用者に意向を聞きながら実施

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比		
	男:女	男:女	男:女	男:女	男:女	男:女	男:女	男:女	男:女	男:女	男:女	男:女	男:女	男:女		
利用者	93:165	109:178	92:187	99:205	105:193	87:170	106:209	106:185	81:152	92:138	101:140	108:140	1179:2,062	+75/+138		
計	258	287	279	304	298	257	315	291	233	230	241	248	3,241	+213		
介護度	事業対象者	6:0	5:0	4:3	4:5	3:3	3:2	5:4	4:4	2:4	4:3	3:4	4:4	83	-19	
	要支援1													0	-23	
	要支援2	28:16	34:9	26:10	30:9	31:8	24:7	32:8	31:7	25:6	27:7	25:8	25:6	439	-104	
	要介護1	22:75	9:81	8:83	9:97	9:87	8:74	10:75	8:68	8:46	8:53	16:50	21:58	983	+11	
	要介護2	26:71	49:83	43:87	46:90	52:88	44:83	50:118	51:104	38:92	45:72	49:77	52:63	1573	+406	
	要介護3	8:0	9:0	7:0	7:2	10:3	8:0	9:0	9:0	7:0	8:	8:	6:2	103	-101	
	要介護4	3:3	3:5	4:4	3:2	0:4	0:4	0:4	0:2	0:4		3:	1:	7	56	+39
	要介護5								3:0	1:0				4	+4	
ケアカンファレンス	0:3	0:1	0:1	0:3	0:1	1:2	1:1	2:1	0:0	0:2	1:0	0:1	21			
個人計画	0:3	1:3	1:3	3:1	1:3	2:1	1:1	1:3	1:0	2:2	1:1	2:2	39			
稼働率 %	81.9%	83.2%	88.6%	92.1%	86.4%	90.2%	91.3%	88.2%	86.3%	76.6%	80.3%	78.7%	85.3%	+6.5%		
新規利用	0:2	0:0	0:1	0:0	0:0	0:0	0:0	1:0	0:0	0:0	0:1	0:1	6	-11		
事故件数 (転倒、骨折)	0	0	1	1	2	0	0	1	0	1	0	0	6	+6		
ひやりはっと件数	1	0	12	13	6	12	5	8	11	12	13	7	100	+98		